

## 第6学年2組 音楽科学習指導案

平成21年12月8日(火) 第4校時

授業者 教諭

場 所 第2音楽室

### 1 題材名 曲想を感じ取ろう

教材 「木星」「つばさをだいて」

### 2 題材の目標

- ・想像豊かに聴いたり，曲想に合った表現の仕方を工夫したりしようとしている。  
(音楽への関心・意欲・態度)
- ・歌詞や旋律の動きから曲想を感じ取って，気持ちをこめた表現の仕方を工夫している。  
(音楽的な感受や表現の工夫)
- ・語感や旋律の特徴を生かして，合唱することができる。  
(表現の技能)
- ・曲想の変化を感じ取ったり，移り変わっている響きを味わったりしながら聴くことができる。  
(鑑賞の能力)

### 3 題材について

本題材では，曲想を感じ取ってイメージを膨らませながら，音楽を想像豊かに聴いたり，表現の仕方を工夫したりする活動を進める。「木星」では，実際に音楽を聴きながら楽曲全体の気分を感じ取ったり，楽曲から受けたイメージを自由に膨らませて様子を思い浮かべたりする。

「つばさをだいて」は，いつの日か大きく羽ばたいて大空を駆けめぐりたいという気持ちをカモメに託して歌った二部合唱の曲である。旋律の動きや音の重なり，強弱や速度の変化などの，様々な音楽的要素が一体となって曲想が醸し出される歌唱教材である。歌詞の内容や曲想を感じ取って，気持ちをこめながら，やわらかく響く声で二部合唱させたい。

### 4 児童について

落ち着いた集中力のある授業態度が見られ，きれいな響きのある声を意識して歌う子が多い。

今回扱う「つばさをだいて」のような長く曲想の変化に富んだ合唱曲は，連合音楽会の曲「きみのかわりはないから」で経験しているが，学級全体で同じパートを歌い，表現の工夫は教師の指導に依るところが多かった。今回のような，声に合ったパートを自分で選び，自分たちでパート練習をしたり，表現の工夫を考えたりする活動には慣れていないため，考える視点を与えながら段階を踏んだ指導を行う中で，表現を深めていけるように支援していきたい。そして，この題材での学びが，次の題材「心をこめて合唱しよう」で扱う卒業式の歌「旅立ちの日に」での，より深い曲想の理解と表現に生かされるとともに，中学校での学習にもつながることを期待している。

### 5 指導について

本時では，「つばさをだいて」の表現を工夫する活動を行う。考える視点を提示して，新学習指導要領で新設された「共通事項」のうち，強弱や速度を中心に表現を工夫させたい。その際，歌詞の内容から心情を感じ取らせたり，声の出し方や表情も意識させたりしながら，やわらかく響きのある歌声で二部合唱できるよう指導・支援していきたい。表現を工夫する学習では，話し合いや考える活動に時間を割きがちになる。十分な歌唱時間を確保し，仲間と心と声を合わせて歌う喜びを十分味わわせることを念頭に置いて，活動を進めたい。

6 指導計画（7時間配当） 本時5／7

時	学習内容	ねらい	関	感	表	鑑	評価規準
1	オーケストラの響きを味わいながら聴く。	楽曲の感じから情景を想像して聴くことができる。	○			◎	(鑑賞) 情景を想像したり、曲想を感じ取ったりしながら聴くことができる。
2 3	自分の声に合うパートを選んで合唱する。	旋律の動きや声の重なりを感じながら、自分のパートを歌うことができる。	○		◎		(技能) 曲の感じや旋律の動きをとらえて歌うことができる。
4 ~ 7	曲想に合った表現を工夫して合唱する。	曲想を感じ取りながら、表現を工夫することができる。	○	◎	○		(感受・工夫) 歌詞の内容や旋律から感じ取った曲想を生かして、表現を工夫している。

7 本時の目標 曲想を感じ取りながら、表現を工夫することができる。

8 準備物 掲示用楽譜

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
<p>○「つばさをだいて」を歌う。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">「つばさをだいて」の表現を工夫しよう</div> <p>○前時で表現を工夫したところを振り返る。</p> <p>○表現の工夫を考える。</p> <p>○工夫した点に気を付けながら二部合唱をする。</p> <p>○次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムや音程を確かめたり、旋律の動きや音の重なりを意識したりしながら、歌うようにさせる。</li> <li>・音程が不正確なところは、オルガンなどで補助をして、旋律をとらえられるようにする。</li> <li>・前時の学習を思い出したり、考える視点を提示したりして参考にさせる。</li> <li>・考えた工夫を掲示用楽譜に書き込んだり、実際に歌って確かめたりすることにより、共有化を図る。</li> <li>・歌詞の内容から心情を感じ取らせたり、声の出し方や表情を意識させたりして、やわらかく響きのある歌声で二部合唱できるようにする。</li> </ul> <p>☆曲の感じをとらえながら、意欲的に歌っているか。 (活動の様子の観察…関心・意欲・態度)</p> <p>☆歌詞の内容や旋律から感じ取った曲想を生かして、表現を工夫しているか。 (発言・演奏の聴取…感受・表現の工夫)</p>

10 授業の観点

教師が提示した視点は、児童が表現の工夫を考えるうえで効果的であったか。